

平成29年5月19日(金) 第5号



きふね

北九州市立貴船小学校

〒802-0074

小倉北区白銀2-8-1

TEL921-3971

文責：校長 新森 修二

目指す子ども像

<き> きまりを守る子ども

<ふ> 振り返り、よく考える子ども

<ね> 粘り強くがんばる子ども

素敵な場面に出会いました。

運動会の練習が始まって1週間が経ちました。今週は、表現の振付を覚えるために体育館での練習が多かったようです。来週からは本番に向かって、外での練習が中心になります。体力的にも疲れがたまりがちになりますので、ご家庭での体調管理をどうぞよろしくお願いいたします。

そのような中で素敵な場面に出会いましたので、二つ紹介させていただきます。

一つ目は、子どもたちに感謝の気持ちが育っている姿です。

私と笹谷先生は、時間を見つけては運動会に向けてトラックの整備をしています。

水曜日の下校時、5年生の子どもたちが、口々に「ありがとうございます。」「水分補給に気を付けてください」と声をかけてくれました。子どもたちが自らの気持ちでお礼を言ってくれたのでしょう。

しかし、同時に担任である伊達先生が、私たちの作業している姿に気づかせてくださったということもあると思います。昨日は、運動場での練習を終えた2年生が声をそろえて、「校長先生、笹谷先生、ありがとうございます。」とお礼を言ってくれました。感謝の気持ちを育ててくださっている安東先生に感謝です。もちろん他の学年の子ども達も同じように声をかけてくれます。

前回の学校通信でもお知らせしましたが、「感謝は筋肉のように、鍛えることで強くなるもの」です。その時々感謝を教えることが子どもの心を育てることにつながります。感謝するべき場面に気づく先生方の感性の素晴らしさに、私が感謝しています。

二つ目は、中学3年生のある生徒から修学旅行のお土産をいただいたことです。

白銀中学校の3年生が、修学旅行に行きました。ある男子生徒が「小学校の先生方に」と、お土産を買ってきてくれたのです。

卒業して2年以上の時間が経っています。当時の先生方も異動で変わられています。それでも小学校の先生方を思い、限られたお小遣いの中からお土産を買ってきてくれました。

その優しさにとっても感動しました。

当時の小学校の先生方に「とてもお世話になった」という思いがあったからこそ、このような行動に結びついたのだと思います。

大きな愛で子どもたちを包み、いつまでも子どもたちに慕われる本校の先生方。そして、このような素直な心をもった生徒を育て続けてくださっている中学校の先生方。

本当に素敵な先生方です。とても誇りに感じています。



1・2年生の練習の様子



体育館での全体練習の様子